

えひめ 民児協だより

Vol.
14

2023.12.1



PR動画 (YouTube)
民生委員・児童委員の
周知にご協力ください。

支え合う
笑顔の愛媛
（つむぐ思いやり）



もくじ

ごあいさつ

愛媛県民生児童委員協議会 会長 戒田 民子

report01 第92回 全国民生委員児童委員大会 報告

report02 令和5年度 愛媛県民生児童委員協議会
研修会報告

特集 Special 座談会

「地域を思いやりながら、楽しんで活動を」

市町民児協の取り組み

四国中央市／愛南町

令和5年度 表彰者

愛媛県民生児童委員協議会
キャラクター「愛媛県版ミンジー」

愛媛県民生児童委員協議会
会長／戒田 民子



皆様におかれましては、日頃から地域に合ったさまざまな取り組みを行っていただき、感謝しております。約3年にわたったコロナ禍でしたが、私にとっては、その間、家族が2度の手術を受けるなどの出来事が重なったこともあり、今までの自分の民生児童委員活動に対する考え方に向き合う機会になりました。

そのきっかけとなつたのは、樋野興夫先生の著書に出会つたことです。その中で特に印象に残つたのは、「人は『暇げな風貌』に心を開く」「自分の気持ちで接するのではなく『相手の必要に共感』する」という言葉でした。「暇げな風貌」とは、「脇が甘い」「隙だらけ」「懐が深い」という印象を相手に与え、話しやすいと感じさせる風貌のことですが、それまでの私は、高齢者宅を訪問する際、午前中に2人で訪問するという目標を立てて活動していました。そのような目標のもと、慌ただしく活動する私に、相手が本当に心を開いてもらえて

いたのか、振り返るとそれには程遠い態度だった気がします。

また、「自分の気持ちで接するのではなく『相手の必要に共感』する」という言葉から、これまでの自分の相談態度を振り返ると、私は自分だつたらどうしてほしいかと、ということを基準に相手に接していることに気づき、相手のその時に必要なこと・望んでいることに共感する視点が不足していたのではないかと反省しました。

この約3年、心配で不安な日々ではありました。が、自分のこれまでの活動と向き合う時間を経て、どんな時も、負の経験でさえ無駄ではないことを改めて感じています。

いかなる時であっても、ユーモアを持ち自分自身を大切に民生児童委員活動に邁進して参りましょう。今後とも、愛媛県民生児童委員協議会へのご協力をよろしくお願ひします。

11.21(火)～22(水) <1泊2日>

会場 広島グリーンアリーナ ほか
参加者 全国約3,300名

▶ 内容

1日目／全民児連会長表彰・特別講演・アトラクション等
2日目／活動交流集会1～7、シンポジウム8、9

愛媛県民生児童委員協議会の白石敦之副会長が発表しました

2日目に開催された「民生委員・児童委員活動を支える民児協機能の強化」をテーマとした「活動活動交流集会7」において、新居浜市民生児童委員協議会 白石敦之会長が【「活動ガイドブック」「連携手引書」を利用した民児協機能の強化】と題して発表しました。

発表の中で、作成に至った経緯として、「①委員の活動や役割の明確化、実践力向上」「②委員が孤立せず、地域の幅広い関係者と連携し、『わがまち』の仕組みづくり」「③体制強化によるなり手

確保のすそ野を広げること」の3点を上げ、活用の事例紹介を含めて発表しました。

まとめ

9テーマに分かれた活動交流集会およびシンポジウムでは、活動内容や課題を知ることができたとともに、その活動のノウハウを学ぶことができ、今後の活動につながる意義深いものとなりました。

令和4年の一斉改選では、委員定数が初めて24万人を超えるとともに、約1万5000人が欠員となり、「なりて確保」が一層困難になつている状況が明確になりました。また、コロナ禍による制限等で増加した社会的孤立や生活困窮などの生活課題、自然災害への平常時からの備えなど、課題に応じて必要な支援を総合的、包括的に地域ぐるみで行うことが重要です。加えて、本年4月よりこども家庭庁が創設され、国こども施策の基本的な方針、重要な事項を定める「こども大綱」が示されました。

本年度の大会は、全国の民生委員・児童委員の代表者や民児協関係者が一堂に会し、ともに今後の活動について考える契機とすることを目的に開催され、愛媛県からは、愛媛県民生児童委員協議会役員等30名が参加しました。

第92回 全国民生委員児童委員大会

report 01

ました。社会情勢の変化のなかでも、私たちの不可分一体の活動は不变であり、このことは「地域共生社会」の考え方にもつながります。



令和5年度

愛媛県民生児童委員 協議会 研修会報告

近年、人口の急減と世帯の極小化などを背景として、地域という生活基盤そのものが衰退。その結果、地域社会は多様かつ複雑な課題を抱えています。本年4月より、こども家庭庁が創設され、子どもをめぐる課題への対応は、家庭状況に応じて必要な支援を総合的、包括的に行うことが学校等関係機関との連携、児童委員と主任児童委員の連携強化等がより重要なことになります。さらに、全国各地で自然災害が発する中、災害に対する平常時からの備えや、発災時には活動しないことなど、共通認識を改めてもつことが大切です。

こうした民生児童委員を取り巻く環境がめまぐるしく変わるなかで、民生児童委員の役割である「地域の困境」などを発見し、関係機関につなぐことの重要性が増しています。本会では、民生児童委員の資質向上、連携強化等、活動の一層の充実・発展のため、下記の研修会を4年ぶりに意見交換等を交えながら開催しました。

6.16(金) 13:30~16:30

第41回民生委員教室

会 場 松山市総合コミュニティセンター
3階 大会議室

参 加 者 民生児童委員(1期目程度の初任者)／113名



▶研修内容

- 講師／金井 敏 氏 高崎健康福祉大学 健康福祉学部
社会福祉学科 教授
講演／「民生児童委員活動における
相談支援の心構えと基本技術」
演習／「民生児童委員活動における
相談支援の心構えと基本技術【演習】」

7.25(火)・26(水)

愛媛県単位民児協会長研修会

会 場 奥道後壱湯の守 錦晴の間
参 加 者 県下190法定単位民生児童委員会長／175名



▶研修内容

- 講師／棄原 英文 氏 一般社団法人 FEEL Do 代表理事
講演／「高めよう福祉力・防災力 深めよう地域との絆」
災害にも強い地域を目指して」
講師／佐藤 裕幸 氏 広島県民生児童委員協議会 会長
実践発表・演習／「統・活動記録の活用」

8.29(火) 13:30~16:30

主任児童委員研修会

会 場 愛媛県総合社会福祉会館
2階 多目的ホール

参 加 者 主任児童委員／121名



▶研修内容

- 講師／高橋 久雄 氏 社会福祉法人 至誠学舎立川 理事
講演／「子ども・子育て家庭をめぐる諸課題と
児童委員・主任児童委員活動」
演習／「子どもを地域全体で支えていくために
～これから主任児童委員活動を考える～」

10.4(水) 13:30~16:30

民生児童委員技術向上研修会

会 場 ウエルピア伊予2階 銀河
参 加 者 概ね2期目以上の民生児童委員
(単位民児協会長を含む)／113名



▶研修内容

- 講師／雜賀 正彦 氏 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部
社会福祉学科 助教
講演／「地域共生社会の実現に向けて
～中堅民生委員・児童委員に必要な知識と役割～」
演習／「他機関連携による援助困難事例への対応
～民生児童委員力の向上を目指して～」

11.9(木)・10(金)

役員研修会

会 場 ホテルグランフォーレ2階ボーラスター
参 加 者 愛媛県民生児童委員協議会役員
／27名

▶実践発表

- 司会進行／市川 一宏 氏 ルーテル学院大学
名譽教授
発表者／得丸 直子 氏 大分市民生委員
児童委員協議会 会長
実践発表①／「大分市民生委員児童委員
府内サポート体制について」
発表者／高市 絵美 氏 松山市石井西地区民生
児童委員協議会 会長
実践発表②／「認知症高齢者の徘徊搜索・声かけ
訓練を地域で実践 安心して暮ら
続けられる地域づくり～認知症
キッズサポーターの取り組み～」



地域を 思いやりながら 楽しんで活動を

進行：
鬼北町民生児童委員協議会
●松浦 正 会長
(調査広報委員委員長)

松山市民生児童委員協議会
●西岡 千佳子 副会長
今治市民生児童委員協議会
●豊島 正二 会長
内子町民生児童委員協議会
●池田 匠子 会長

※左から順

長年、地域を見守り、
誰もが安全に安心して
生活できるようサポートしている
民生児童委員の皆さん。
今日は、東・中・南予から
市町民児協会長副会長3名と
調査広報委員長が
代表して集まり、
活動のポイントや今後も
大切にしていきたいことなどを
語り合いました。



令和5年9月8日、坂の上の雲ミュージアム2階ライブラリーにて



池田会長 内子町でも民生児童委員（以下、委員）に加えて“見守りさん”が地域ごとに一人ずつ配置され、連携しています。

委員は地域の問題や悩みを聞く役割があり、具体的な解決策を示すのではなく、適切な機関や組織につなぐ役割を果たしています。

松浦会長 なるほど、とても参考になりますね。鬼北町では、とにかく顔を合わせたら声がけすることにしています。お年寄りから「この前、声がけしてくれた人やね」と言われることもあり、こういったことがつながりになつていくと思っています。

思っています。

他機関との連携のポイントについては、さまざまな機関、役場、学校、社協などに機会あるごとに顔を出すようにしています。それにより知っている人が増えています。

え頼みごとがスムーズに進むことが多

いですね。

活動時に気をつけていることは、自分が楽しい気持ちで相手に接するということ。こちらが嫌な気分で会うと、必ず相手にそれは伝わりますから。

新任民生児童委員へ

今後も大切にしたいこと、期待すること

松浦会長 次に、新任委員へ引き継ぎたい思い、今後も大切にしたいこと、これからの方に期待することなどをお話し下さい。

西岡副会長 コロナ禍においては何も活動できませんでしたが、今は楽しんでやつてているという話を聞き、多くの委員さんが自覚を持って活動してくれていると感じています。一方で、委員の役割を知らない方も多く、小・中学校などの啓発活動も進め、委員をやろうという人が出てきてくれることを期待しています。

豊島会長 常に“地域を見守るつなぎ役”としての役割を意識して活動してほしいですね。住民の立場に立ち、地域を思いやりながら活動を続けてほしいと考えています。

池田会長 委員として、地域の人々と仲良くなつてほしいと思っています。「委員って何?」という声が多いのが現状。地域の人々から「困ったことは委員のおばちゃんに言えば、相談にのってくれる」と思われるくらい親しく、顔を覚えてもらえる存在になつてもらえたならありがたいですね。

松浦会長 皆さん地域を思う気持ちがよく分かりました。私も新任の委員さんは、楽しみながら活動してほしいと思っていました。私たちが積極的に動くことで、結果は自然とついてくるはずです。

研修や会合で他地区の委員さんと顔を合わせることもあるので、何か困ったことがありますれば、私も先輩委員、各地区の会長に相談してほしいと思います。

皆さん、今日はありがとうございました。

座談会メンバーからのメッセージ



松浦 正 会長



西岡 千佳子 副会長



豊島 正二 会長



池田 匠子 会長

四国中央市

民生児童委員協議会



主任児童委員の活動

子ども服・学生服の再利用の取り組みおよび支援

四国中央市民児協の取り組みについて

四国中央市民児協は、民生児童委員193名、主任児童委員30名の223名で活動しており、組織としては、役員会、4ブロック民協、15地区民協、3専門委員会（高齢・障がい・児童）で構成され、毎月のブロック会長会、役員会、地区定例会を開催し情報共有を図るとともに、3専門委員会では、それぞれの分野での活動や研修を行っています。行政や市社会福祉協議会及び関係団体等とも連携を図り、地区民協の運営の充実、民生委員・児童委員並びに主任児童委員活動の発展と強化、互助共励を図っています。

令和3年度には、四国中央市活動強化方策を作成し、基本理念「広げよう地域で支える心の輪」をスローガンに、重点目標として、①「地域のつながり、地域の力を高める」②「さまざまな課題を抱えた人びとを支える」③「民生委員・児童委員制度を守り、発展させていく」という目標を掲げ、日々活動しています。

コロナ禍におけるこの3年間は、各種会議や研修会を含む民生委員活動の一部自粛もありましたが、令和5年度に入り、コロナ感染に関しても第5類に移行され、徐々に活動も再開されています。今回、当会における主任児童委員活動について紹介させていただきます。

今後の取り組み

貧困家庭が増えているなか、子育て世代とリユース活動を通じて気軽につながり、このことに限らず、様々な生活支援相談が受けられるような居場所づくりが必要です。他にも、貧困からくる

教育格差問題、孤立しがちな女性の就労問題、さまざまな課題が山積していますが、行政・社協・学校等と連携し、少しでも課題を乗り越えられるような取り組みを行い、地域の子どもたちを応援していきます。



四国中央市民児協
活動強化方策



単位民児協の概要と
実状(別冊)

また、小中高の着られなくなつた学生服等を預かって、必要な方にお渡ししている（おさがり、バンク）活動も主任児童委員が中心になつて立ち上げ、学生服等の再利用を通じ、就学生を持つ家庭とつながり、生活相談に応じています。



子ども服のリユース活動

愛南町

民生児童委員協議会



の早期発見、早期解決に取り組みます。

地域福祉活動

協議会と連携し、さまざまな地域福祉事業を実施しています。

高齢者独居訪問事業

愛南町民児協は、民生児童委員88名、主任児童員3名の91名で活動しています。5つの支部があり、各支部の支部長・副支部長2名、計15名で構成される理事会が設置されています。理事会では、愛南町民生児童委員協議会の事業計画を作成し、事業を推進しています。

愛南町は小さな町ですが、海もあり山もあり、地域の資源もさまざまです、そこには暮らす人の生活形態も違っています。

愛南町は少子高齢化により、高齢者世帯や単身世帯が増加する中、地域のつながりの希薄化等により地域社会における支え合いが脆弱化。ひきこもりや生活困窮、子育て、介護等、課題は複雑化し、認知症の人の増加や地域別の一ニーズの多様化も見込まれ、地域特性に応じた対応が求められています。

愛南町民児協では、平成18年度から、70歳以上の独居高齢者および80歳以上の高齢者のみの世帯を社会福祉協議会と連携し、訪問活動を行っています。各地区、民生委員と社会福祉協議会職員が訪問し、日常の困りごとはないか、地域内に頼れる人はいるかななど聞き取りを行い、高齢者が地域で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。地域の相談役として活動する民生委員として、地域の課題や資源の把握、また情報の収集、発信といった役割が求められる中、愛南町民児協は、行政や社会福祉への訪問も行い、困りごとを抱えた方



関係づくりを行っていくことが必要です。民生委員活動として、ふれあいサロンや地域食堂、フードパントリー事業等へ参加し、地域での活動の把握や、見守り、相談支援等、専門職へのつなぎ役として、地域福祉活動を行っていきます。

これから活動について

愛南町民児協は、地域で顔の見える民生委員として、地域に住む方の日常生活の何気ない変化や、SOSに気づくなど、地域に根ざした見守り活動が重要なと感じています。そのためにも、愛南町民児協として、専門職や関係機関とのネットワークの強化、研修会等を開催し、知識の向上に努め、「誰もが地域で安心して暮らせる地域づくり」の一助を担う地域福祉活動を行っていきたいと考えています。

